


# おおむた 市議会だより

第184号

平成24年度 第4回定例会

平成25年(2013年)5月1日発行

インターネット議会中継配信中

大牟田市議会  検索 

<http://www.city.omuta.lg.jp/shigikai/>  
平成21年5月以降の録画も視聴できます

【主な記事】

- 新たな運営形態での予算特別委員会を開催/ぎかいのわだい(2・3ページ)
- 三川坑跡の保存・活用に関する決議案などを可決/(3・4ページ)
- 子どもたちが受け継ぐ地域の踊り/おおむた自慢(14ページ)



新たにスタート  
天の原小学校 新一年生43人 元気に入学期(4月10日)



も  
く  
じ

■ぎかいのわだい ..... 2	■一般質問 ..... 10
新たな運営での予算特別委員会、追跡 あれからどうなった? ～決算特別委員会での3つの重点的要望、三川坑跡の保存・ 活用に関する決議、委員会メモ	一般質問(10人)
■本会議運営のあらましほか ..... 4	■一般質問、議会日誌ほか ..... 13
第4回定例会、議案等の審議結果、予算特別委員会	議会日誌、他議会からの行政視察、インフォメーション
■代表質問 ..... 6	■連載 おおむた自慢ほか ..... 14
代表質問(4人)	子どもたちが受け継ぐ地域の踊り、編集後記



意見・要望の  
合意形成を  
図りました

# 新たな運営形態での予算

## 公立小・中学校施設・設備の補修・改善のさらなる予算確保について全議員が賛同

25年度の各会計予算及び条例等の議案、報告、請願の合計44件を予算特別委員会で審査しました（5ページに関連記事）。審査の過程で述べられた意見・要望は、起草委員会を中心に集約する作業を活発に行った結果、「公立小・中学校の施設・設備の補修・改善については、子どもの学習環境や安全対策に関わるため、早急に対応する必要があることから、さらなる予算確保に努められたい。」という一件の意見・要望について、全議員の積極的な賛同により合意形成が図られました。この意見・要望は実現に向けて積極的に取り組むとともに、所管常任委員会等において進捗状況を報告するよう行政に求めました。また、昨年の議会報告会等を踏まえた多様な要望も行いました。

### 議会報告会（平成24年8月）での意見を予算特別委員会で要望しました

- ☆議会報告会で寄せられた意見・要望等(要約)
- ☆予算特別委員会で議員が発言した意見・要望

#### 1. 世界遺産登録推進

☆市民からの盛り上がり重要だが、浸透していないと思われる。  
★機運の高まりが重要なことから、幅広く市民理解を得られるように、一層の推進を図られたい。

#### 2. 世界遺産関連施設等保存整備



宮原坑跡駐車場

☆宮原坑跡に駐車場が整備されたが、トイレも設置すべきである。

★宮原坑跡の駐車場敷地内に見学者用公衆トイレを設置されるよう取り組まされたい。

#### 3. (仮称)中心市街地にぎわい交流施設

☆一部有料にすべきではないか。  
★使用・申請を含めた手続、使用料徴収は、施設の目的に沿ったものとされるよう意を払われたい。



(仮称)中心市街地にぎわい交流施設(パース図)

#### 4. 学校給食の委託化

☆市民意見を聴取して検討するべきではなかったか。  
★保護者・児童・教師等への十分な説明と意見反映に努められたい。

#### 5. 手鎌南川河川改良

☆調整池の設置を含めた河川の早急な整備をしてほしい。



手鎌南川沿道の冠水

★上流部の計画も含め全体計画を検討した上で、調節池の調査を進められるよう努められたい。

追跡  
決算特別委員会での3つの重点的要望  
あれからどうなった？

昨年9月の決算特別委員会では、各会派の意見・要望の集約を行い、議会として合意形成を図った結果、3項目について重点的な要望を行い、新年度予算案提出時までその対応について市当局からの回答を求めました。

2月13日に回答が出されましたが、説明、取り組みが不十分であるとし、定例会や予算特別委員会での質疑質問を経て、3月26日に再提出されました。

**要望1** 食の安全対策については、食品衛生監視体制を充実された。

**回答** 立ち入り検査などによる監視率の60%達成を目指し、食品取扱施設の衛生状況の水準の維持向上を図る。また、食品衛生法に基づく成分規格検査適合率100%を目指し、流通食品の安全性の確保に努める。さらに、検査機器を整備し、本市独自でノロウイルス検査等を実施し、より迅速な食中毒の原因究明及び拡大、再発防止対策を図る。

**要望2** 固定資産税については、他市に比べ超過税率になっていることから、企業誘致、産業振興の観点からも、段階的に税率の逡減に努められたい。

**回答** 2年連続の実質収支黒字となっているが、未だ財政構造の抜本的な改善が果たせたとはいえない状況にあることから、逡減を行うにはこの減収に見合う別の恒常的な財源を確保する必要がある。27年度には単年度収支が赤字となる見込みであり、この状況が継続すれば、たとえ単年度収支の黒字や財政調整基金があったとしても、





# 特別委員会を開催

ほかにも多様な視点から意見・要望を述べました(要約・抜粋)

## ①固定資産税の超過税率の逡減

議会総意であり、国・県の資産については超過分の課税はなく、市民にのみ負担を強いていること、さらに、税負担の公平の観点も踏まえた上で、逡減の再考を。

## ②子ども医療費

小学6年生までの入院費助成の拡充は評価するが、さらなる拡充の検討を。また、助成拡充はわかりやすい説明と周知に努め、拡充分の償還払いは医療機関とも相談し、現物給付とされるよう検討を。

## ③女性のためのがん検診推進

子宮頸がん、乳がん検診無料クーポン券を活用し、さらなる受診率向上に向け、周知徹底を。

## ④三池港

リサイクルポートに指定されていることから、関連企業等の誘致により、さらなる利活用を。次期総合計画においても推進を。

## ⑤交通の便の確保

高齢者の買い物などの交通網の確保に向けて、全市的な見通し計画の検討を。

本会議で三川坑跡の保存・活用に関する決議を全会一致で可決  
議会でも論議を重ね、最終的に3月26日に全会一致で可決しました。

### 三川坑跡の保存・活用に関する決議

本市が三川坑跡の保存・活用を検討するに当たっては、以下の事項を踏まえて取り組まれない。

記

1. 三川坑跡の保存・活用を検討するに当たっては、市民・議会への丁寧な説明と意見聴取、情報公開に努めるなどして、市民・議会の理解と合意を得ながら進めること。その前提として、市民や団体・専門家などからなる組織を立ち上げて、十分に議論すること。
2. 三川坑跡の保存・活用に関する費用については、国・県や関係機関などの支援を最大限求めながら、本市の負担を極力少なくすること。  
以上、決議する。

数年で再び累積赤字となる可能性も十分考えられることなどから、現時点で超過税率の逡減については非常に困難であると考える。

**要望3** 公立小・中学校の施設・設備については、早急に補修や改善の必要など十分な対応ができないため、予算の確保を図って改善・充実に努められたい。

**回答** 施設整備については、耐震化と併せて外壁改修を行うとともに、国の経済対策や新たな施策などによる有利な財源を極力活用し、教育環境の改善に努めている。

維持補修では、23年度から施設の長寿命化に資する一定規模以上の工事を別枠で予算計上し実施している。しかしPTAなどからの要望すべてに十分な対応ができていないと言いき難い状況であり、今後も教育環境改善に向け、学校施設の計画的な維持管理を実施していくため、(仮称)学校施設大規模改造計画を26年度に策定予定であり、計画的な対応を図っていく。

としています。議会は、これら3つの要望に対し、今後もしっかりと監視し、改善を求めています。

## 未整備地域に光ファイバー網整備

【総務委員会】

2月18日及び26日に地域情報通信基盤整備事業の説明を受けました。光ファイバー通信環境等の未整備地域の解消に向け、25～26年度にかけて民設民営を前提として整備します。本事業は未整備地域からも強い要望があり、議会からも行政に要望を続けていました。

## 学童保育所等へのバス送迎

【教育厚生委員会】

2月14日の委員会で、学童保育所等におけるバス送迎事業について報告を受けました。全校区において学童保育所等が利用できる環境を整備するため、未整備校区に対して近隣の学童保育所等からバス送迎が行われます。

## 中心市街地グランドデザイン

【都市環境経済委員会】

2月19日の委員会で、大牟田商工会議所を主体として策定された中心市街地グランドデザイン(計画地区中心市街地41ha)について、民間事業による活性化も推進する必要があるため、掲げられた事業等に対し、支援を行っていく旨の説明を受けました。

## 議会報告会の準備に着手

【議会改革特別委員会】

市民の皆さんと直接言葉を交わし、意見や要望等を聴取する議会報告会を今年度も行います。

日頃の生活の中で、市役所や議会に対する意見や要望等があれば、議会報告会でお聞かせください。

議会報告会の詳細は、今後の議会だよりなどでお知らせします。







一般会計予算543億3,000万円

予算特別委員会

議員全員で構成する予算特別委員会（光田茂委員長、三宅智加子副委員長）を設置し、新年度の各会計予算及び条例等議案等について、3月13日から21日までの実質6日間で審査を行いました。

審査の結果、公立小・中学校の施設・設備の補修・改善のさらなる予算確保などを盛り込んだ委員長報告書を取りまとめ、3月26日の本会議ですべての予算議案及び条例議案を可決しました。（2、4ページに関連記事）

【25年度の特徴的な歳出予算】

- 生活交通支援事業  
コミュニティバスの運行に対し、車両と必要経費の一部を負担するもの（138万円）
- 耐震性防火水槽整備事業（3,950万円）
- 手鎌南川河川改良事業  
上流部の道路冠水等の被害緩和のため、河川改修に必要な調節池の設置等を行っていくもの。（2,500万円）
- 中学校給食共同調理場建設事業  
27年度からの実施に向け、2か年で給食センターを整備するもの。（4億5,007万円）
- 地域情報通信基盤整備事業  
26年度までに光ファイバー網の未整備地域の解消を図るもの。（500万円）

平成25年度各会計予算の概要（1万円未満四捨五入）

区分	予算額	対前年度当初比
一般会計	543億3,000万円	2.0%
特別会計	国民健康保険	173億3,960万円 △ 0.3%
	介護保険	126億 129万円 1.7%
	後期高齢者医療	1億3,322万円 1.1%
	病院事業債管理	1億 769万円 △ 49.9%
	水道事業 ※1	40億9,965万円 △ 4.7%
	公共下水道事業 ※2	64億2,725万円 7.7%

- ※1 収益的支出  
26億5,865万円  
資本的支出  
14億4,100万円
- ※2 収益的支出  
23億6,902万円  
資本的支出  
40億5,823万円

議案等名		自民	公明	護憲	共産	無所属	所属	賛成数	審議結果
		8人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員 城後正徳議員 吉田康孝議員			
議案	第115号 大牟田市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第116号 大牟田市三池カルト・歴史資料館等複合施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第117号 大牟田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第118号 大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第119号 大牟田市青少年教育等多目的施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第120号 指定管理者の指定の一部変更について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第121号 平成24年度大牟田市公共下水道事業会計資本剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第122号 定住自立圏形成協定の締結について(荒尾市)	○	○	○	×	○	○	21	多数可決
	第123号 定住自立圏形成協定の締結について(南関町)	○	○	○	×	○	○	21	多数可決
	第124号 定住自立圏形成協定の締結について(長洲町)	○	○	○	×	○	○	21	多数可決
	第125号 権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第126号 平成24年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第127号 平成24年度大牟田市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第128号 平成24年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
第129号 大牟田市教育委員会委員の任命について(本山清美氏)	○	○	○	○	○	○	24	同意	
第130号 大牟田市教育委員会委員の任命について(嶋田桂子氏)	○	○	○	○	○	○	24	同意	
第131号 大牟田市公平委員会委員の選任について(堤隆弘氏)	○	○	○	○	○	○	24	同意	
第132号 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について(圓佛英輔氏)	○	○	○	○	○	○	24	同意	
第133号 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について(本田礼子氏)	○	○	○	○	○	○	24	同意	
第134号 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について(石橋直久氏)	○	○	○	○	○	○	24	同意	
発議	第35号 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第36号 ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第37号 配合飼料の価格高騰対策を求める意見書案	○	○	○	×	○	○	21	多数可決
	第38号 T P P (環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書案	○	○	×	○	○	○	19	多数可決
	第39号 原発に依存しない社会の構築と再生可能エネルギーの利用拡大を求める意見書案	×	○	○	×	○	○	13	多数可決
	第40号 東日本大震災からの速やかな復興、福島再生を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第41号 地方固有の財源である地方交付税制度の堅持を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第42号 国民皆保険を堅持し、医療提供体制の拡充を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	8	少数否決
	第43号 生活保護制度の見直しに関する意見書案	×	×	○	○	×	×	8	少数否決
	第44号 少人数学級の推進を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
	第45号 年金2.5%の削減中止を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	8	少数否決
第46号 原発事故子ども・被災者支援法の施策の早期具体化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	24	多数可決	
第47号 大牟田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	24	全会可決	
決議	第1号 三川坑跡の保存・活用に関する決議案	○	○	○	○	○	○	24	全会可決
請願	第5号 知的障害者が安心して暮らせる入所施設の新設を求める政府意見書の提出についての請願	×	×	○	○	×	×	8	不採択
	第6号 T P P (環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願	○	○	×	○	○	○	19	採択
報告	第16号 大牟田市土地開発公社の事業計画について	報告を受けた(採決なし)							
	第17号 財団法人大牟田文化会館の事業計画について	報告を受けた(採決なし)							
	第18号 財団法人大牟田市地域活性化センターの事業計画について	報告を受けた(採決なし)							
会派名称	自民(自由民主党議員団)	光田 茂、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清(議長)、森 竜子、山口雅弘							
	公明(公明党議員団)	大野哲也、今村智津子、塚塚敏郎、平山伸二、三宅智加子							
	護憲(社民・民主・護憲クラブ)	古庄和秀、平嶋慶二、平山光子、松尾哲也、森田義孝							
	共産(日本共産党議員団)	高口謙治、北岡あや、橋積和雄							

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求め、反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。上記の表では、起立した会派(または議員)を○と表記し、着席の会派(または議員)を×と表記します。なお、空白は欠席または表決の棄権を表します。また、議長は採決に加わるできません。



## 市民目線で次世代に つながるまちづくりを



自由民主党議員団  
森 竜子 議員

3月7日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について（1）25年度予算案及び24年度追加補正予算案（2）有明圏域定住自立圏における中心市の役割（3）リサイクル発電事業の今後の方向性（4）まちづくりの視点から見た小中学校の再編（5）近代化遺産の維持管理費と活用（6）中心市街地の活性化 ■2 大牟田市の児童・生徒の学力・体力向上について ■3 議会決議・意見に対する市長回答について（1）市民負担の軽減・対策を求める決議に対する取り組み（2）固定資産税の超過税率の逡減

### 市長の政治姿勢について

#### 25年度予算案及び 24年度追加補正予算案

**問** 本市では、国の特別措置として創設された地域経済活性化・雇用創出臨時交付金を活用し、どのような事業に取り組み、また一般財源の支出をどの程度減らすことができるのか。

**答** 小中学校の耐震化や都市下水道整備など、25事業を前倒しや新規として取り組む。交付金の活用で、一般財源2億6,800万円の縮減。25年度においても一般財源の負担及び市債発行額の抑制が図られる。

**問** 財政計画では、27年度に単年度収支が1億6,700万円の赤字になると見込まれており、過疎債の償還などで、さらに厳しくなると思われる。行政は継続性が重要であり、次世代につながるような投資、事業が必要と考えるがどうか。

**答** 財政構造強化指針に掲げるルールを遵守し、財政規律の確保に努め、財政構造の抜本的な改革が図られるよう取り組んでいく。

#### まちづくりの視点から見た 小中学校の再編

**問** 再編は教育の問題だけでなく、将来を見据えたまちづくりの一つと考えるが、市長の見解はどうか。

**答** 学校再編は、未来を開く子供

たちの教育環境の整備が目的。まちづくりとの関係も深いことから、教育委員会と連携して推進する。

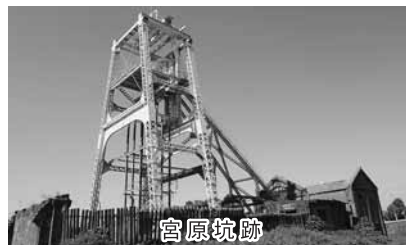
**問** 子育てや、教育に力を入れる考えがあるならば、小中一貫校も検討すべきと思うがどうか。

**答** メリット・デメリットなど、本市にどのような方式がふさわしいか検討する。

#### 近代化遺産の 維持管理費と活用

**問** 宮原坑跡の史跡範囲拡大や、追加指定される三池炭鉱専用鉄道敷跡を市が取得する理由は何か。

**答** 国指定史跡の保存と管理を確実に進め、適切な公開・活用を行うため、国庫補助金を活用し公有化するもの。



宮原坑跡

**問** 国指定の重要文化財・史跡となった場合、民間所有と市所有では、固定資産税の減免や国からの措置に違いはあるのか。

**答** 3つの違いがあり、1つ目は重要文化財の家屋やその敷地は、地方税法上非課税で、その分は国の交付税算定上、減収補填の対象となる。2つ目は史跡となった土

地が民間所有の場合、市税条例に基づき減免するため、交付税の補填もない。3つ目はこれを市が所有する場合、税収が落ちるので交付税増加の要因となる。

**問** 三川坑跡の維持管理、またどう活用するのか具体策が見えない中、所有者との無償譲渡の協議に入るのは時期尚早ではないか。

**答** なくなってしまうと2度とつくりすることができないものであり、確実に残していくために市が取得し、今後、整備手法や財源など時間をかけ十分議論していきたい。

### 議会決議・意見に対する 市長回答について

#### 固定資産税の超過税率の逡減

**問** 超過税率を企業誘致や産業振興の観点からも段階的な税率逡減に努めるよう要望しているが、市長の考えはどうか。

**答** 超過税率を解消するためには、標準税率に戻しても収支均衡が継続できるような中期的な財政見直しが必要であり、現段階では非常に困難である。

**問** 超過税率の逡減は全議員の総意。やれる方法を見出してぜひ実現していただきたいと再度、強く要望するがどうか。

**答** 要望は真摯に受け止める。





## 防災・減災対策は住民の命を守るため 課せられた最大の政策課題である



公明党議員団  
三宅 智加子 議員

3月7日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1) 新年度予算編成に当たっての基本姿勢 (2) 防災・減災対策 (3) 三川坑跡の活用方針 ■2 市民協働のまちづくりについて (1) 市民協働部の果たす役割 (2) (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設の運営体制 ■3 男女共同参画社会について (1) おおむた男女共同参画プラン推進の成果と課題

### 市長の政治姿勢について

#### 新年度予算編成に 当たっての基本姿勢

**問** 国の大型緊急経済対策のもたらす効果について聞きたい。

**答** 24年度の一般会計補正予算としては、追加額として事業費17億3,800万円である。事業は国の補助の対象とならないものもあり、今回の経済対策がなければ取り組めなかった事業もある。また、一般財源の負担及び今後の市債発行額の抑制も図られた。

#### 防災・減災対策

**問** 東日本大震災から2年目を迎える。防災計画の見直し、それに基づく防災・減災対策は、住民の命を守るために地方自治体に課せられた最大の政策課題である。新年度どのような取り組みをするのか聞きたい。

**答** 地震・津波の想定の見直しや被害を最小限に抑える減災の考えに基づいた避難行動のための体制の整備、防災意識の向上、自主防災組織の育成等の視点から地域防災計画の抜本的な見直しを行っている。また、防災拠点となる消防庁舎の建て替えを進め、耐震性防火水槽について計画的に整備を行う。さらに、災害時の情報伝達手段の一つとして防災行政無線の充

実を図るとともに、災害用物資の備蓄についても計画的に行う。引き続き小中学校の耐震化を進めるとともに、市営住宅についても計画的に耐震化を図っていく。組織上においても現行の安心安全課から防災・減災に係る事務を特化し、4月から防災対策室を新設する。



建てかえられる消防庁舎 (パース図)

**問** 災害時に女性の視点を活かした対応をするために、他都市では女性の防災検討委員会を立ち上げている所もある。本市の現状を聞きたい。

**答** 災害対策基本法の改正に伴い、大牟田市防災会議条例を一部改正、防災会議の委員構成の見直しを行ったことにより、自主防災組織をはじめ女性団体や障害者団体の代表の参加が可能になった。

### 市民協働のまちづくりについて

#### 市民協働部の果たす役割

**問** 市民との協働を進めるにあたり、庁内、市民、市民団体等の基本姿勢の共通認識を図るための取

り組みについて聞きたい。

**答** 市民活動を支援し協働を推進する立場にある行政が、協働について正しく理解するため、新たなまちづくりの担い手としての市民や市民団体とどのように協働に取り組むかというテーマで管理職研修、監督職研修を実施してきた。

市民に対しては、ボランティア団体やNPO組織が活動する上での知識や技能を向上し参加者や支援者を増やす方法を学ぶ協働向上セミナー、市民活動講座を開催してきた。

### 男女共同参画社会について

#### おおむた男女共同参画プラン 推進の成果と課題

**問** 第2次プラン策定に取り組んでいるが、第1次プラン推進の成果と課題について聞きたい。

**答** 重点施策である政策方針決定過程の女性の参画促進については、審議会等委員、農業委員会委員への女性の登用拡大や、校区まちづくり協議会の会長に女性が初めて選出されるなど、一定の成果を上げることができた。課題としては市役所の女性職員の管理職への登用推進が10年間横ばいの状態である。

第2次プランでは、従来なかった14項目を達成するための目標値を設定し、達成状況を把握する。



## 市民の視点に立った政策決定を 行政サービスの物差しを市民側に合わせて



社民・民主・護憲クラブ  
古庄 和秀 議員

3月7日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢と今後のまちづくりについて（1）国政への評価（2）総合計画後期基本計画第2期実施計画と市民生活（3）新年度予算編成への市長の信念と優先順位（4）市民目線で見える三川坑跡のあり方（5）中心市街地活性化 ■2 障害者政策の立ち位置について（1）障害者福祉制度の支給基準と個別対応（2）9月議会以降の改善点（3）障害者総合支援法への対応（4）まちづくりの観点から見る障害者政策

### 市長の政治姿勢と今後のまちづくりについて

#### 国政への評価

**問** アベノミクスが本市に与える影響を聞きたい。

**答** 一定評価するが、急激な円安によって物価上昇を招くこと等による市民生活への影響は、十分注視していかなければならない。

**問** 民間には給与の値上げ、公務労働者には給与の削減を要求する点についてはどうか。

**答** 地方公務員の給与引き下げは、消費拡大にはつながらずデフレを加速させる要因ともなるのではないかと、疑問を感じざるを得ない。しかし、現下の最大使命である日本再生、東日本大震災後の復旧・復興に向けて、国と地方が一丸となってあらゆる努力を結集する必要がある。職員の給与減額措置は避けられない。

#### 新年度予算編成への市長の信念と優先順位

**問** 高齢者等の就労意欲の喚起や就労機会の確保、生きがいの創出について聞きたい。

**答** 高齢者のイメージを、明るく、活力があり長い人生の完成期と捉えており、仕事への参加を通じ、社会とのつながりを実感しながら生き生きと活躍し、元気に生きが

いを感じながら暮らし続けることが、孤立防止や疾病・介護予防、そして、地域社会の活性化につながっていくものと考えている。

#### 市民目線で見える三川坑跡のあり方

**問** 12月以降、三川坑跡の取得方針が変わった根拠を聞きたい。

**答** 全市的な三川坑跡の保存の署名活動の報告や商工会議所からの要望などを踏まえ、改めて、三川坑跡を保存し、次の世代に継承していくことが必要だと認識した。

#### 中心市街地活性化

**問** 市長の最初の公約に掲げられて以来、重点的に取り組んであるが、その全体像を描く中心市街地活性化基本計画は未だ認定されていない。

さらに、認定された他都市でも厳しい現状にある中、中心市街地の現状と課題並びに市長の決意を聞きたい。

**答** 以前のように商業のまちとして栄えることは難しいので、三つの柱で、活性化に全力で取り組む。



建設中の(仮称)中心市街地にぎわい交流施設

### 障害者政策の立ち位置について

#### 障害者福祉制度の支給基準と個別対応

**問** 障害者が介護保険の対象となったときの対応について9月議会以降、どのように検討したのか。

**答** 近年の障害者福祉費は毎年億円単位で増加している。また、21年度以降は、国・県負担金の基準額を超えて支給している。しかし、障害者自立支援法と介護保険法の制度の問題による不利益はあってはならない。65歳になられた途端にサービス量が激減し、日常生活などに大きな支障が生じないように、障害の特性を考慮した障害福祉サービスの支給決定のあり方について検討している。

#### まちづくりの観点から見る障害者政策

**問** 岡山県総社市では、障害者千人雇用に取り組まれ、職員が自宅を個別訪問し、本人の希望を確認した上で、次のステップにつながっている。まちづくりの観点から見る障害者政策について聞きたい。

**答** 市総合計画の基本構想において、ノーマライゼーションの理念のもとで、生活居住環境の向上や就労支援、社会参加の促進などにより、障害のある人が地域で安心して暮らすための自立支援を促進していくこととしている。





## 国の悪政から 市民生活と地方自治を守る市政に



日本共産党議員団  
高口 講治 議員

3月8日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1) 国の政治に対する見解 (2) 市民生活の現状と対策 (3) 社会保障政策とTPPへの見解と対策 ■2 総合計画を踏まえた新年度予算案について (1) 新年度予算編成の基本的観点 (2) 新年度予算案の評価点と課題 (3) 新年度予算案の国の政策・予算案との整合性 (4) 市財政計画との整合性 (5) 新年度予算案への要望 ■3 水道一元化問題について (1) 水道一元化の手続きと鉅害補償給水打ち切りの根拠 (2) 大牟田市の問題と対策 ■4 世界遺産登録事業について (1) 世界遺産登録事業の全体像 (2) 近代化遺産の保存・活用・取得と情報公開 (3) 個々の近代化遺産及び関連施設の問題 ■5 まちづくりについて (1) 新栄町駅前地区市街地再開発事業 (2) 大牟田市中心市街地活性化基本計画とランドデザインとの整合性 (3) 周辺商店街の活性化 ■6 ごみ処理計画とRDF発電事業について (1) 現在のRDF発電事業の問題点 (2) 次期のごみ処理計画の問題点

### 市長の政治姿勢について

#### 国の政治に対する見解

**問** 安倍政権の政策への見解を。

**答** 経済対策は厳しい地方財政に配慮しており、一定評価する。

#### 市民生活の現状と対策

**問** 上記について聞きたい。

**答** 市民生活は厳しい。円安による物価上昇と市民生活への影響に注視し、ニーズ把握に努めたい。

#### 社会保障政策と TPPへの見解と対策

**問** 上記について聞きたい。

**答** 貿易立国の日本にとって難しい問題。国の動向を注視したい。

### 総合計画を踏まえた 新年度予算案について

#### 新年度予算編成の 基本的観点

**問** 上記について聞きたい。

**答** 将来に向けた投資、まちづくりに向け積極的に編成した。

#### 市財政計画との整合性

**問** 後年度の負担増が心配だ。

**答** 元金臨時交付金等の活用で、地方債の発行抑制や後年度の公債費縮減ができる。

### 水道一元化問題について

#### 水道一元化の手続きと鉅害 補償給水打ち切りの根拠

**問** 上記について聞きたい。

**答** 企業側が示している念書とボーリング調査結果は把握していないが、関係者間で一元化を進める環境が整ったと判断し、企業と自治体の役割分担で説明会を開催した。

#### 大牟田市の問題と対策

**問** 市としてどう対応するのか。

**答** 市水切り替えまでの緩和措置の要望もあったが、公平性の観点から市の料金負担を求めたい。説明会ではまだ理解を得ていない状況であり、4月の説明会ではより理解を得られるよう説明したい。

### 世界遺産登録事業について

#### 世界遺産登録事業の全体像

**問** 全体的な経費の見込みは。

**答** まちづくりプランで示した額が4億6千万円、用地取得分が1億5千万円で、合計6億1千万円である(数字は概算)。

**問** 整備計画等の情報提供は。

**答** 市民参加と協働が必要な事業であり、様々な機会で見せたい。

### まちづくりについて

#### 新栄町駅前地区 市街地再開発事業

**問** 概要を聞きたい。

**答** 概算事業費64億円。1.6haに駅ビルや分譲マンション等を建設。

#### 大牟田市中心市街地活性化基本 計画とランドデザインとの整合性

**問** 整合を図るべきだと思うが。

**答** グランドデザインには市も検討段階から参画しており、結果については市の計画にも反映したい。

### ごみ処理計画と RDF発電事業について

#### 次期のごみ処理計画の問題点



大牟田リサイクル発電所

**問** 事業を5年間延長する案が出たが、参加自治体の把握は。

**答** 6月までに最終的な意向を確認することとなる。

**問** RDF事業の10年の総括は。

**答** ダイオキシン対策や灰処理、安全性確保などの総括の上に、事業延長が提案されている。



一般質問



### 市民の命を守る立場で 福祉施設の安全対策を

日本共産党議員団 北岡 あや 議員

2月25日 一問一答方式により質問

- 1 本市の国民健康保険の現状と課題について (1) 被保険者の生活実態 (2) 国保財政安定のための対策
- 2 福祉施設の防火安全対策について (1) スプリンクラー設置の現状と課題 (2) 悲惨な結果を起こさないための対策

#### スプリンクラー設置の 現状と課題

**問** 小規模の福祉施設にもスプリンクラーの設置が必要と考えるが、小規模事業所は経営が厳しい。市として対策をとるべきではないか。

**答** 厳しい経営状態は認識しており、設置義務のない施設へは、国の補助を活用した設置を求めている。国・県としては、設置補助や

人員体制を検討するための実態把握を行っているところである。

#### 本市の国民健康保険の 現状と課題について

**問** 介護保険料や消費税・電気料金の値上げ、年金の引き下げなど生活全体を把握して、国保税が納められるのか、という視点が必要。本市被保険者の所得ベースは100

万円未満の方が70%ということだが、負担は限界に達していないか。

**答** 本市の国保財政は、高齢者、低所得者が多く大変厳しい状況にあるため、財政安定化計画を策定し、国へも財政措置を要望した。将来も安心して医療が受けられるよう、一定の負担はお願いせざるを得ない。



### 国の大型補正予算に 対する本市の対応は

自由民主党議員団 境 公司 議員

2月25日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 現政権に対する期待 (2) 国の大型補正予算に対する本市の対応
- 2 大気汚染物質PM2.5への懸念について
- 3 不法投棄対策の現状について
- 4 今後の公園施設整備について
- 5 県道南関大牟田北線の整備について
- 6 圃場(ほじょう)整備の推進について

#### 国の大型補正予算に 対する本市の対応

**問** 繰り越しとの関係はどうか。  
**答** 地域経済の活性化のため、地域の元気臨時交付金が交付される。今回、一般会計で約17億3千万円程度の22事業になる。25年度予算に計上していた事業を中心に可能な限り前倒しして実施し、財政的メリットも出したい。

#### 現政権に対する期待

**問** 安倍政権は、金融政策、財政政策、成長戦略の3本の矢で円高・デフレ脱却を目指すとした。このアベノミクスについて、市長の見解を聞きたい。  
**答** この対策で景気が回復するとその期待感を背景に、円安、株価上昇が進み経済状況が好転しており、

大いに期待する一方で、急激な円安による物価上昇を招くことなどによる市民生活への影響等には注視したい。

#### 大気汚染物質PM2.5への 懸念について

**問** 本市の対応を聞きたい。  
**答** 注意喚起については、国・県の動向を注視し連携対応する。



### 市民活動サポートセンターの開設と 活動団体への支援充実に期待

無所属 吉田 康孝 議員

2月25日 一問一答方式により質問

- 1 市民協働の観点から見た市長の政治姿勢について (1) 市民活動サポートセンターの運用と方向性 (2) 校区まちづくり協議会に対し、市は何を求め何を期待するのか (3) (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業費
- 2 世界遺産関連施設の保存と大牟田の文化財について

#### 市民活動サポートセンターの 運用と方向性

**問** 25年10月に中心市街地に開設する同センターで取り組む事業を聞きたい。  
**答** 同センターは、市民活動に必要な場所や機材を提供することにより、活発な市民活動が展開されるための拠点とする。具体的事業として、市民活動への意識を醸成

する各種講座の開催、活動のための知識や技能を身につける研修の機会を創出する。また、市民活動の安全を確保する市民活動補償制度の窓口とするほか、協働事業のパートナーとなる市民活動団体のさらなる活性化を支援するため、同団体への助成制度に取り組む。

成制度の内容について聞きたい。  
**答** 公益事業を展開しようとする団体を対象に、必要な用具類の購入費用を助成するステップアップ助成金と、市が設定したテーマについて、地域や社会の課題解決を図るために団体を募って、必要な経費を助成する提案公募型協働モデル事業助成金の二種類を考えている。

**問** 25年度に導入する市民活動助





### 市民が未来に希望を持てるよう 固定資産税は標準税率に戻して

自由民主党議員団 入江 裕二郎 議員

3月8日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 固定資産税の標準税率化と土地の評価額
- 2 商店街の活性化について (1) 新年度予算での補助事業の内容 (2) 商業地域の土地利用の方向性
- 3 道路狭隘住宅地域の開発手法について

#### 固定資産税の標準税率化と土地の評価額

**問** 固定資産税超過税率1.6%を標準の1.4%に下げる考えはないか。また、土地評価を上げるには、どのような施策が必要か。

**答** 標準税率でも収支均衡が継続できる中期的な財政見通しと、財政調整基金を30億円程度保有できる財政状況になれば、超過税率解

消を具体的に検討できる。総合計画に掲げる事業が着実に実施され、目標とする都市像の実現が図られることで、土地評価額増や定住化促進の期待ができる。

**問** 財政調整基金が20億円に達したら、税率を1.5%にできないか。

**答** 行政は継続性が必要。そうしたことは考えていない。

#### 道路狭隘住宅地域の開発手法について

**問** 住民が都市計画を提案できる制度の詳細について聞きたい。

**答** 都市計画提案制度は、土地所有者や事業者などが一定の条件を満たせば計画を提案できる制度。まずは、地域住民の十分な理解による合意形成を図ることが重要と考える。



### 難聴の早期発見と適切な対応で 子供たちの成長をサポートすべき

公明党議員団 今村 智津子 議員

3月8日 一問一答方式により質問

- 1 生活保護制度の見直しについて (1) 制度見直しと生活保護世帯への影響 (2) 基準額改定の周知と考えられる影響と課題 (3) 25年度予算への反映 (4) 学習支援の拡大
- 2 軽度・中程度の難聴児に対する補聴器購入費の助成について
- 3 健康づくりについて (1) 胃がん対策が前進、ピロリ菌の除菌に対する保険適用と本市の取り組み (2) 教育・保育現場における食物アレルギー対策 (3) 口から始める健康教育

#### 軽度・中程度の難聴児に対する補聴器購入費の助成について

**問** 子供たちに平等に教育を受けさせるため、補聴器購入費の助成制度について見解を聞きたい。

**答** 助成を行っている市町村の多くは、県の補助事業として費用負担がなされている。本市において現在、具体的な相談はないが、やはり課題であると認識している。

#### 胃がん対策が前進、ピロリ菌の除菌に対する保険適用と本市の取り組み

**問** ピロリ菌の除菌も保険適用となった旨の周知が必要。今後の取り組みや検診について聞きたい。

**答** 胃がんのリスクを分類する検診を市立病院でも実施している。保険適用や検診情報を周知するために4月15日号の広報おおむたに掲載する。

#### 口から始める健康教育

**問** 口呼吸を鼻呼吸に直すことで免疫力を高める「あいうべ体操」がある。口から始める健康教育の指導方法を聞きたい。

**答** 口腔の衛生を初め、保健学習と保健指導を密接に関連させながら、実態や発達段階に応じて指導をしている。



### グリーンアジア国際戦略総合特区 指定を本市産業振興の追い風に

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二 議員

3月11日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 総合計画後期基本計画第2期実施計画について (1) グリーンアジア国際戦略総合特区の有効活用 (2) 本市の中国への環境戦略
- 2 まちづくり協議会と町内公民館の立ち位置について (1) まちづくり協議会のこれまでの総括 (2) 町内公民館への今後の支援策
- 3 市民の健康対策について (1) 大気汚染物質PM2.5問題と対応・対策 (2) 化学物質に対する行政認識と市民啓発
- 4 条例遵守の取り組みについて (1) 草刈条例、犬のふん条例等遵守への市民啓発

#### グリーンアジア国際戦略総合特区の有効活用

**問** 昨年、電気化学株が同特区に指定され、新たに50名の雇用を発表した。雇用対策になる同特区について、今後どう取り組むのか。

**答** 環境を軸とした産業拠点の構築を目指し、地場産業の新規事業展開を支援するなど、積極的な取り組みを行いたい。

#### 本市の中国への環境戦略

**問** 環境産業での成長戦略構想を持つべきだと思うがどうか。

**答** 本特区事業を着実に実施し、環境を軸とした企業誘致や設備投資の促進を図ることが、中国を初めとする環境ビジネスのアジア展開につながると考える。

#### 大気汚染物質PM2.5問題と対応・対策

**問** 中国から越境飛来するPM2.5問題に本市はどのように対応・対策を考えているのか。

**答** 市民にわかりやすいホームページの改善や、テレホンガイドの活用も検討するなど、多様な方法で注意喚起に努めていく。



## 一般質問



## 国保の市民負担軽減、医療費減免制度の拡充を

日本共産党議員団 橋積 和雄 議員

3月11日 一問一答方式により質問

- 1 国民健康保険事業について (1) 国民健康保険税の税率改正と市民負担軽減の取り組み (2) 医療費の一部負担金の減免制度拡充 ■2 世界遺産登録事業について (1) 三川坑跡及び関連用地の取得方針 (2) 登録関連費用の全体像と市民理解 ■3 生活保護費削減と市民生活への影響について ■4 総合計画に掲げる消防行政について (1) 消防施設の整備・充実と広域化の推進計画 ■5 快適住マイル改修事業のさらなる拡充について

### 国民健康保険事業について

**問** 国保税の2年連続引き上げは問題だ。決議した市民負担軽減の実行、医療費一部負担金の減免制度拡充を求めたいがどうか。

**答** 負担緩和策として国保積立基金の段階的な活用、一般会計繰入基準の見直し、増額を実行している。医療費の減免についても、要

件緩和の必要性を認識し、見直しの検討を進めている。

け保存表明をした。無償譲渡を基本に交渉を進めたい。

### 三川坑跡及び関連用地の取得方針

**問** 市民・議会等の意見を聞き、維持管理費用を示して取得交渉を進めるべきだと思うがどうか。

**答** 保存するには最後のチャンス。町内公民館や団体からも要望を受

### 生活保護費削減と市民生活への影響について

**問** 市民生活を守る立場から国に反対意見を述べてほしいがどうか。

**答** 具体的な国からの通知がまだない。制度の問題で、国のルールに従うのが自治体の仕事である。



## 市長の重点施策と定住化政策について

自由民主党議員団 田中 正繁 議員

3月11日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 総合計画後期基本計画第2期実施計画によるまちづくり (2) 機構改革による、これからの市民協働と教育 ■2 定住政策と定住自立圏について (1) 定住政策 (2) 定住自立圏の中心市の役割と組織・機能 (3) 定住自立圏形成協定の各政策分野における取り組み

### 総合計画後期基本計画第2期実施計画によるまちづくり

**問** 特にどの事業に重点を置いて進めていくのか。

**答** 子ども医療費助成事業などの次世代育成支援事業、少人数学級編制・少人数授業推進事業などの教育施策のほか、中学校給食推進事業、新栄町駅前地区市街地再開発事業などに取り組む。

**問** 疲弊していく地域の商店街をどのようにして活性化するのか。

**答** まちづくり基金事業等の推進のみならず、個店の魅力等をつくり上げることも肝要であるため、地元の意見を聞きながら、一緒に情報等を発信していきたい。

今後とも地域住民のニーズの把握に努め、商工会議所や商店街組織と連携して支援を行っていく。

### 定住自立圏形成協定の各政策分野における取り組み

**問** 有害鳥獣による農業被害額とその対策について聞きたい。

**答** 本市、みやま市、荒尾市、南関町で、23年度のイノシシによる被害額は、5,300万円程度。対策として、捕獲鳥獣の処理を適切に行うための広域的な処理施設を比較的緊急に整備することが必要。



## 医療・福祉の支援を充実させ安心して生活できる大牟田へ

公明党議員団 平山 伸二 議員

3月12日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 血液難病者への支援について (1) ドナー助成制度 (2) 造血幹細胞移植の推進 ■2 障害がある人への支援について (1) 日常生活用具の給付 ■3 小・中学校における教育環境の整備について (1) 猛暑対策 ■4 健康づくりについての市民意識の醸成について (1) 国民健康保険における健康づくりの啓発 (2) まちづくり市民アンケートに見る市民意識の醸成 ■5 生活排水処理対策について

### 血液難病者への支援について

**問** 新潟県加茂市や島根県浜田市では独自にドナー助成制度を立ち上げている。命のボランティアを支援するドナー助成制度を本市も立ち上げるべきではないかと考えるがどうか。



**答** 造血幹細胞移植推進法に基づく新たな体制や施策が示される見込みで、現段階では国や他自治体の動向を注視したい。

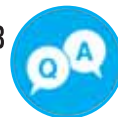
対象にならないのか。自治体の判断でできるということであれば、前向きに検討をお願いしたい。

**答** ルーペ、拡大鏡については、低廉な価格で容易に入手可能であるため、日常生活品として一般に普及しているものとして日常生活用具の給付対象の品目としていない。

### 障害がある人への支援について

**問** 視覚障害がある人への日常生活用具の給付については、ルーペなど持ち歩きが容易なものがなせ





## 市民負担には 市長自らの説明を

自由民主党議員団 山口 雅弘 議員

3月12日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1) 国の政治に対する見解と期待 (2) 地域資源を活かしたまちづくり (3) 次世代育成 (4) 市民負担と市長の政治責任 ■2 教育行政について (1) 教育現場の指導力

### 市民負担と市長の政治責任

**問** 国民健康保険税や介護保険料など市民に負担を求める部分については、市民懇談会などを通じて直接、市長が説明すべきではないか。

**答** ごみ分別・ごみ袋導入時は、市民の皆さんの理解が得られ感銘した。説明して理解を求めることは大変重要だと思う。

### 地域資源を活かした まちづくり

**問** 公益財団法人大牟田市地域活性化センターの役割は何と思うか。

**答** 本市の産業振興に資することを目的に、研究開発や新規事業を生み出すなどの支援を行っており、重要な役割を持っていると思う。



同センターが入居する大牟田市エコシンクセンター

### 教育現場の指導力

**問** 日本語に「愛の鞭」という言葉があるが、教育現場ではどのように捉えているか。

**答** 体罰等によらない妥協なき指導、毅然とした態度での指導を行っていきべきであり、子供たちの能力を最大限発揮していくという指導を行っていききたい。

## インフォメーション

### ■次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

### ■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

### ■インターネット議会中継

パソコン等でインターネットが利用できる場合は、大牟田市トップページの左下「インターネット議会中継」からご覧ください。生中継の他に、21年5月臨時会以降であれば、過去の録画も視聴できます。（トップページ左下にある入口）



### ■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。6月上旬から閲覧できます。ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

## 議会日誌（1月～3月）

### 【1月】

- 10日 総務委員会
- 11日 全員協議会、総務委員会
- 18日 議会報編集委員会
- 21日 議会運営委員会、議会研修会
- 28日 議会改革特別委員会
- 29日 教育厚生委員会

### 【2月】

- 4日 各派代表者会
- 12日 全員協議会
- 13日 各派代表者会、議会運営委員会、議会改革特別委員会
- 14日 教育厚生委員会
- 18日 総務委員会
- 19日 議会改革特別委員会、議会報編集委員会、都市環境経済委員会
- 20日 第4回定例会本会議〔開会、補正関係上程〕
- 21日 各派代表者会
- 22日 各派代表者会、議会運営委員会
- 25日 第4回定例会本会議〔質疑質問、追加議案上程、採決〕、都市環境経済委員会、議会運営委員会
- 26日 総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 28日 各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔補正関係議案採決、新年度関係議案及び追加補正議案上程〕

### 【3月】

- 1日 政策等調整委員会
- 7日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
- 8日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
- 11日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、各派代表者会
- 12日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、予算特別委員会、総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 13日 予算特別委員会、起草委員会、各派代表者会
- 14日 議会運営委員会、第4回定例会本会議〔追加補正議案採決〕、予算特別委員会、起草委員会
- 15日 予算特別委員会、起草委員会
- 18日 予算特別委員会、起草委員会
- 19日 予算特別委員会、起草委員会
- 21日 予算特別委員会、請願等調整委員会、各派代表者会、起草委員会
- 22日 各派代表者会、起草委員会
- 25日 起草委員会
- 26日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔新年度関係議案採決、閉会〕、議会報編集委員会
- 27日 総務委員会、教育厚生委員会
- 29日 総務委員会、議会改革特別委員会

## 他議会からの行政視察（1月～3月）

月	日	自治体名	視察項目
1	24	大阪府箕面市	議会改革の取り組み
	29	北海道北見市	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	30	埼玉県朝霞市	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	31	千葉県富里市	議会改革等
2	4	愛知県豊橋市	大牟田市動物園の指定管理者制度の導入
	5	神奈川県大和市	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	7	鹿児島県薩摩川内市 徳島県吉野川市	重要港湾三池港を活用した地域振興 大夢多コミュニティ無線システムの整備・運用
3	27	山口県周南市	議会改革の取り組み



# 子どもたちが受け継ぐ地域の踊り

連載  
おおむた自慢

大牟田の踊りといえば、炭坑節や大蛇山の女神輿踊りが有名ですが、他にも昔から地域に根ざした踊りがあります。今回は、子どもたちが、地域の方々から受け継いでいるユニークな踊りを3つ紹介します。



提供 手鎌小学校

## がたいねおどり (手鎌・黒崎地区)

手鎌・黒崎周辺では、明治以前から干拓事業が促進され、干拓地を田畑に変えて農業が発展してきました。何度も災害、暴風雨に見舞われ、堤防決壊の難のたびに、多くの人たちが補修し、苦労して従事してきました。その人たちが働きながら歌ってきたのが、がたいね民謡と踊りです。

手鎌小学校の5年生が、地域の保存会の方から総合学習で教わり、手鎌地区公民館の文化祭などで披露しています。

## 米はかりおどり (玉川地区)

江戸幕府の直轄の天領地であった玉川地区では、農民は厳しい年貢の取り立てに苦労していました。上納米を納める際の代官の厳しい検査の様子やユーモラスなやり取りが踊りとして伝えられています。農民の辛さや苦しさとともに、たくましさや喜びも感じられます。

玉川小学校の児童が、米作りの体験とともに、地域の方からこの踊りを引き継ぎ、学習発表会のときに披露しています。



提供  
玉川小学校



## ぜんでこ踊りとひゅうたん廻し (上内地区)



提供 市秘書広報課



江戸時代から上内の岡天満宮に奉納されていた踊り。「ぜんでこ」は娘踊りで、田植えから刈り入れまでの稲作の動作を象形化したもので、「ひゅうたん廻し」は、お宮まいりの時に酒に酔った男がひさご（酒の入った瓢箪）を片手にフラフラ踊り出した様子を踊りにしたもので、地域の子どもたちが、大人から引き継ぎ、こっけいでおおらかな仕草を見事に踊ります。毎年9月25日、岡天満宮に奉納されます。

編集後記

「おおむた市議会だより」の編集に携わり2年。はじめは縦書きか横書きかの議論からはじまり、表紙の写真撮りや議員の横顔紹介、大牟田自慢の特集、表裏のカラー化など、よりよい紙面づくりを目指し取り組んできました。毎号、印刷が出来上がってくるのが楽しみでもあり、不安でもあります。市民の皆さんにも楽しんでいただける「おおむた市議会だより」となるよう、これからも頑張ります。(R)

### 編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子

【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

### 発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800

FAX 0944-41-2880

E-mail gikajimu01@city.omuta.lg.jp